

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	◎	百貨店（販売促進）	・当百貨店は10月以降、段階的にリニューアルする予定である。フードホールが新設されるため、周辺地区からの人流が増加すると思う。
(四国)	○	商店街（代表者）	・ワクチン接種率が向上しており、年末年始は新型コロナウイルスの新規感染者数がかなり減少することが予想されるため、明るい兆しがみえる。
	○	商店街（代表者）	・ワクチン接種が一通り進み、客が安心して娯楽を楽しめる環境が整備されていくことが予想されるため、少しずつではあるが回復傾向に進んでいくと思う。
	○	衣料品専門店（経営者）	・依然としてコロナ禍の影響が続いているが、来月以降は今までの反動で人出が増加し、景気が良くなると思う。
	○	衣料品専門店（営業責任者）	・まん延防止等重点措置が解除され、旅行需要が本格化すれば服飾関連も動き出すのではないかと期待している。
	○	家電量販店（店員）	・ボーナス商戦や季節商材が伸びることを期待している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・今後、新車の生産台数が回復し、売上が増加することを期待している。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・お歳暮の時期には売上が少し増加すると思う。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・緊急事態宣言が解除され、行動制限も緩和されれば、自粛疲れの反動により景気が回復することが期待される。
	○	一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種率の向上や新薬の開発など明るい話題が少しずつ増えている。このまま行動規制の緩和が進み、経済活動が再開されることを期待している。
	○	観光型旅館（経営者）	・各人が新型コロナウイルスの感染状況等に応じて動くようになっており、ワクチン接種済みの人などは旅行を再開している。
	○	旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少により、各県で発出されている行動規制が今月末で解除される方向で動いている。今後はGo To Travelキャンペーンの再開による景気の回復を期待している。
	○	タクシー運転手	・緊急事態宣言発出とまん延防止等重点措置が解除されることが決定し、夜に少しずつ人が増え始めるのではないかと予想する。遍路の仕事も来月から予約が少し入っており、このまま収束に向かえば、今より景気は良くなると思う。
	○	通信会社（社員）	・まん延防止等重点措置の解除や当県独自の新型コロナウイルス感染症の警戒レベルの引下げにより、売上の増加が見込める。休日においても今より人の動きが多少活発化すると予想する。
	○	通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言の解除等により、今より景気は上向く。
	○	通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、景気は上向くと思う。
	○	競輪競馬（マネージャー）	・ワクチンの接種率が向上し人々の安心感が強まることで、消費志向が強まり、景気が回復する。
	○	美容室（経営者）	・自粛ムードが緩和され、人の動きが活発化してきていると感じる。
○	設計事務所（所長）	・近隣の宅地分譲地の販売が好調である。	
□	商店街（事務局長）	・ワクチン接種が大幅に進んだことで新型コロナウイルスの感染拡大が抑制され、消費が上向くことを期待しているが、依然として先行きは不透明である。	
□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・ワクチンの接種率が高まり、新型コロナウイルス新規感染者数の減少傾向が続いているが、このまま収束に向かうかどうかは分からない。	
□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・まん延防止等重点措置は解除されたが、繁華街に客が戻ってくるかは分からない。一般家庭向けの予約は入るが、繁華街の飲食店向けの予約はなく、今後の見通しが立たない。	
□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・コロナ禍で購買意欲が薄れ、ますます財布のひもが固くなっているように感じる。時短営業が解除されても外食産業が回復するまでには時間が掛かると思う。	
□	百貨店（営業管理担当）	・ワクチンの接種率が高まり、行動規制の緩和が期待されているが、新型コロナウイルスの感染状況が不安定であるため先行きは不透明である。	

	□	スーパー（企画担当）	・10月以降に値上げが実施される商品が多く、買い控えなどの影響が懸念される。
	□	コンビニ（商品担当）	・ワクチン接種は進んでいるが、政府による感染拡大防止策の効果が不透明であり、景気が回復するかは分からない。
	□	コンビニ（総務）	・コロナ禍におけるワクチン接種と行動抑制のみの対策が、医療ひっ迫と消費低迷につながっている。治療薬や予防薬の開発により、感染症の危険レベルを下げなければ、いつまでもウィズコロナにはならず景気は回復しないと思う。
	□	家電量販店（副店長）	・緊急事態宣言が解除されたとしても来客数が増加する要素が見当たらない。部品の供給不足で売上に繋がっていない商品が出てきている。
	□	乗用車販売店（従業員）	・受注しても、半導体不足のため長納期化する車種が増加している。
	□	乗用車販売店（役員）	・世界各国でワクチン接種率が高まるまでは、このままの状態が続くと思う。
	□	一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種が進むことで、新型コロナウイルスの新規感染者数や重症者数が減少すると思うが、季節が変わり空気が乾燥する時期となるため、先行きは不透明である。
	□	都市型ホテル（経営者）	・選挙後の経済対策次第である。
	□	タクシー運転手	・当県では時短要請が26日に解除となったが、人の動きはまだ鈍い。ワクチン接種率は向上しているため、10月以降新型コロナウイルスの新規感染者数が収まり、景気が復活することを期待している。
	□	通信会社（営業部長）	・巣籠り需要の減少により、客の消費志向は物品購入からレジャー消費に移っていくと思う。
	□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響でやや来客数が減少している。今後は新商品の販売を含め客の動きの活性化を期待したい。
	▲	スーパー（店長）	・ワクチンの接種率が向上し、新型コロナウイルス感染症が終息することで、巣籠り需要などの特需が減少する。
	▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が一旦収まり、巣籠り需要や内食需要が減少する。
	▲	コンビニ（店長）	・引き続き来客数の減少が続く。
	▲	乗用車販売業（営業担当）	・今後も新型コロナウイルスの影響と半導体不足が解消される見込みがない。
	×	商店街（代表者）	・地方自治体の社会インフラ整備は、今なお高速道路や橋が中心で、地方からの人口流出を加速させており、地方都市は衰退傾向にある。多発する自然災害や急速な人口減少への対策に重きを置く発想の転換がなければ、地方都市は存在が成り立たなくなると思う。
	×	スーパー（財務担当）	・まん延防止等重点措置の終了と、新型コロナウイルス感染症の終息により、再び外食へ客が流れる。
	×	コンビニ（店長）	・キャッシュレスキャンペーンの終了やたばこの駆け込み需要の反動で、しばらくは売上が減少すると思う。
	×	衣料品専門店（経営者）	・人の移動が制限されており、景気の回復が見込めない。
企業 動向 関連 (四国)	◎	税理士事務所	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かい、旅行業を中心に経済が活発化すると思う。
	○	食料品製造業（経営者）	・緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が解除され、飲食業や観光業が少しずつ回復基調になると推測する。
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・大手住宅メーカーの受注棟数も順調に推移しており、下期の受注量に関しても期待している。
	○	鉄鋼業（総務部長）	・主力の造船関連だけでなく、産業用機械関連も受注案件が増加している。
	○	輸送業（経営者）	・ワクチン接種率の向上や新薬の開発などにより景気がやや良くなると思う。
	○	輸送業（営業）	・このまま新型コロナウイルスの感染が収束し、行動制限が緩和されることにより街中に人が戻れば、年末商戦の時期には消費者の購買意欲復活による景気向上効果が期待できる。
	○	通信業（企画・売上管理）	・まん延防止等重点措置の解除やワクチン接種率の向上により、レジャー関連産業の復調に期待している。
	○	広告代理店（経営者）	・11月頃にはワクチン接種率が更に高まり、イベント等の再開も若干見込まれるため、客の販売促進計画が復活し売上が増加すると予想する。

		農林水産業（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が一時的に減少しているが、依然として先は見通せない。コロナ禍での生活が定着してきており、更に日販品の値上がりや飲食業や旅行業の不振もあるため、急な好転を望むのは難しい。
		繊維工業（経営者）	・コロナ禍が収まった段階で国内に人が戻り、観光地や小売店は幾らか潤うと思うが、消費マインドが以前のように戻るかは疑問である。これまで日本にあふれていた訪日観光客が戻ってくるのは、まだ先のことだと思うが、日本全体の活気が戻るのは、また更にその先である。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・コロナ禍で除菌や掃除用のウェットクリーナーの需要は高いが、十分な供給力があるので売上は横ばいである。最近は新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあり、需要も減少するのではないかと懸念している。
		化学工業（所長）	・回復傾向にあるとは思いますが、先行きは不透明である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・仕事の引き合いが少なく、今後も大きな案件の受注は望めない。横一線の状態で推移すると思う。
		電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルス感染症の第5波は落ち着きつつあるものの、第6波や第7波も見込まれており、市況が不安定である。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少してきているが、年末年始までに感染が再拡大すると推定する。今後も景気は良くもなく悪くもないという状態が続くと思う。
		建設業（経営者）	・今後も余り景気の変化はない。
		通信業（総務担当）	・ワクチン接種の効果がどの程度継続されるのかははっきりしておらず、従来のような活動が再開できるかは見通しづらい。
		金融業（副支店長）	・ワクチン接種が進んでいるにもかかわらず、感染状況に目立った改善がみられないため、当面は収束が見通しにくい状況が継続する。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・市場マインドは上向きつつあるものの、新型コロナウイルスの影響や世界的な電子部品供給不足等による部品調達遅滞、原材料価格の高騰等、不確定な要素が多く先行きは不透明である。
		輸送業（経理）	・12月までの海外向け輸出数量計画が前年比でも減少が続く。
		×	—
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（営業）	・今は集客イベントを中止するところもあり、消費は微増にとどまっていると思うが、これから秋の行楽シーズンを迎えることで、県内外の人の往来が活発化し、景気も少しずつ回復していくと思う。
	○	求人情報誌（営業）	・当県では新型コロナウイルス新規感染者数が低水準となってきており、経済活動が徐々に活発化しつつある。このままイベント行事等が再開されれば、購買意欲が高まり、消費も戻ってくると予想する。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・今後景気が良くなることを期待している。
	○	民間職業紹介機関（所長）	・緊急事態宣言の解除で観光や飲食に活気が戻ると予想する。
	□	求人情報誌製作会社（従業員）	・年末のアルバイト求人数が増加する時期ではあるが、このまま新型コロナウイルスの感染が収束するとは思えないため、現状維持が継続する。
	□	職業安定所（求人開発）	・現在も新型コロナウイルス新規感染者数が2けたの日が続いているが、9月末で感染拡大防止策が解除されることや、ワクチン接種完了者が増加していることから、景気の悪化に歯止めが掛かると思う。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・学生の就職状況の改善はしばらく難しいと思う。
	▲	—	—
	×	—	—